

索引

数字

0次予防	40
2本の足の原則	175
2040年問題	45

欧文

A

AADL	153
ACRM	79
activities of daily living	153
ADL	152
ADL維持向上等体制加算	104
ADLトレーニング	182
ADL評価法	153
APDL	153
APTAによる倫理規定	200

B~F

BADL	153
Barthel Index	155
CBR	19
CNOMK	89
CSP	87
disability	117, 123
disuse syndrome	119
DPT	83, 84
EBM (evidence based medicine)	171
EQ-5D	156
evidence based medicine	171
evidence based practice	74, 76
FIM	153
Functional training	182

H・I

habilitation	19
HAD	90
handicap	117, 126

HRQOL	156
HUI	156
IADL	153
ICD	115
ICF	130, 133
ICFコアセット (ICF core sets)	144
ICFの概観	135
ICFの構造	135
ICF評価点	142
ICFモデル	132
ICIDHモデル	116
IL運動	131
impairment	117

M・N

misuse syndrome	120
narrative based medicine	173
NBM (narrative based medicine)	173
NHRQOL	156
NHS	88

O・P

OT	54
overuse syndrome	120
PDCAサイクル	192, 193
physiatrist	81
physiatry	81
physical medicine and rehabilitation	81
physical therapist	12
physical therapy	12
physiotherapist	12
physiotherapy	12
PNF	178
primary impairment	117
progressive resistance training	179
PTA	82
PTB下腿義足	185

PT・OT法	21
--------	----

Q~T

QOL	83, 155
quality of life	155
rehabilitation	16
rehabilitation medicine	81
rehabilitation physician	81
secondary impairment	119
SF-36	156
SOAP	169
spirituality	155
ST	55
therapist assistant	82

V・W

values-based medicine	174
VBM (values-based medicine)	174
Well-being	158
World Physiotherapy	72

和文

あ

アカデミックハラスメント	203
新しい介護予防・日常生活支援総合事業	109
天照大神	211
アメリカリハビリテーション医学会	79
安静度	32
安全性	124
安定性	124

い

医学的リハビリテーション	18
医学文献	171
イギリスの理学療法	87
医行為	54
維持期	31, 37
医師の指示	24
一次性機能障害 (primary impairment)	117
一次予防	39
一般問題	64
医療事故	186
医療における意思決定方法	160
医療の不確実性	172

医療保険	43	通いの場	110	健康生成論	157	
インシデント	186	過用症候群 (overuse syndrome)	120	健康の構成要素	134	
インフォームド・コンセント	76, 160	カルテ	169	健康要因	157	
インフォームドモデル	161	環境因子	137	言語聴覚士	55	
う～お			韓国の理学療法	96	言語的コミュニケーション	166
運動療法	176	患者教育	183	こ		
エイジング・パラドックス	159	間接的介入	104	後期高齢者医療制度	44	
栄養士	55	がん治療	112	拘縮	122	
エビデンス	172	がんのリハビリテーション	112	公助	109	
炎症	121	カンファレンス	34	構造障害	135	
遠心性運動	177	管理栄養士	55	公認心理士	58	
応用的動作	22	き			幸福感	158
オーストラリアの理学療法	91	義肢	56, 183	高齢者の特徴	159	
温故知新	192	義肢装具士	56	コーチング	195	
か			義肢装具士法	185	ゴーレム効果	165
外観	125	基礎研究	71	国際疾病分類	115	
開業権	82, 113	機能障害	73, 75, 117, 135	国際障害者年	131	
介護支援専門員	32, 45, 58	機能的自立度評価法	153	国際障害分類	117	
介護福祉士	56	基本的動作	21	国際障害分類モデル	116	
介護保険	43	基本的理学療法士技術	64	国際生活機能分類	130	
介護保険制度	44	基本的日常生活活動	153	国民皆保険制度	44	
介護老人福祉施設	37	偽薬	163	国民健康保険	44	
介護老人保健施設	37	求心性運動	177	国民保険サービス	88	
介入	74	急性期	31	志	205	
介入後の効果判定	150	教育的リハビリテーション	16	古事記	211	
外発的動機づけ	209	共助	109	互助	108	
回復期	31, 33	業務独占	28	個人因子	138	
回復期リハビリテーション病棟	33	記録報告	169	個人識別符号	26	
回リハ病棟	33	禁忌事項	32	個人情報	26	
科学的介護推進情報システム (LIFE)	45	筋再教育法	178	個人情報保護法	25	
学術論文	171	筋組織の再生と修復	120	国家試験	64	
学生教育	59	筋力増強運動	179	国家試験合格率	67	
拡大日常生活活動	153	く・け			骨組織の再生と修復	121
価値にもとづく医療	174	クライアント中心のコミュニケーション	166	コミュニケーション	76	
各国で理学療法士に認められている業務	99	ケアマネージャー	45, 58	固有受容器	178	
各国における高齢化率	100	ケアワーカー	56	固有受容性神経筋促通法 (proprioceptive neuromuscular facilitation : PNF)	178	
各国における平均寿命	100	瘻性	82	誤用症候群 (misuse syndrome)	120	
各国における理学療法のプロフィール	98	欠格事由	23	雇用保険	43	
活動	136	牽引装置	182	根拠にもとづく医療	171	
活動制限	73, 75, 136	見学実習	63	混合診療	104	
家庭医制度	107	研究	70	コンピテンシー	74	
仮名加工情報	27	健康関連状態	134	コンピテンス	74	
		健康状態	134			

さ

再生	120
在宅入院	90
再評価	168
再編	122
作業療法	22
作業療法士	54
参加	137
参加制約	73, 75, 137
三次予防	40

し

シェアードディジションモデル	161
持久性	124
四苦八苦	213
自助	108, 109, 220
自称リハビリテーション	114
施設型	37
肢体不自由	13
実地問題	64
疾病および関連保健問題の国際統計分類	115
疾病, 傷害および死因の統計分類	115
疾病生成論	157
指定規則	61
しているADL	153
自費リハビリテーション領域	41
社会情動性選択性理論	159
社会適応	218
社会的不利	117, 126, 137
社会的リハビリテーション	18
社会福祉士	32, 56
修復	120
儒教	212
手段の日常生活活動	153
守秘義務	25
情意領域	189, 190
障害	116, 117, 130
障がい	130
障害児通所支援	39
障害児入所施設	39
障害受容	218
上座部仏教	213
職域	30, 106
職業的リハビリテーション	17

自立	109
自立生活運動	131
神経筋促通法	178
神経組織の再生と修復	120
心身機能・身体構造	135
身体障害者福祉法	185
診断	73
伸張性運動	177, 178
神道	215
診療看護師	53
診療参加型臨床実習	63
診療の補助	24
診療報酬	44
診療報酬制度	103
診療録	169

せ

生活期	31, 37
生活機能	132
生活機能と障害	134
生活の質	155
生検	82
正常化	131
精神運動領域	189, 195
世界理学療法連盟	72
脊髄癆	178
脊柱変形	181
セクシャルハラスメント	203
絶対的医行為	54
禅宗	214
専修学校	60
漸増抵抗運動 (progressive resistance training)	179
選択的最適化理論	159
選定療養	104
専門学校	60
専門看護師	53
専門職大学	59
専門・認定理学療法士制度	105
専門理学療法士	49

そ

装具	56, 183, 185
総合事業	109
総合臨床実習	63
相互関係チームモデル	167

相互作用モデル	133
相互乗り入れチームモデル	167
相対的医行為	54
速度	125
卒前教育	59

た

大学	59
大学院	69
耐久性	124
大乗仏教	213
ダイレクトアクセス	85, 113
台湾の理学療法	93
多職種チームモデル	167
他職種との連携	167
多職種連携	77
短縮性運動	177, 178

ち

地域ケア会議	110
地域包括ケアシステム	38, 68, 106
地域包括ケア病棟	33, 103
地域リハビリテーション	19
地位財	158
チーム医療	167, 211
知行合一	213
直接診療	113
治療	74
治療と目標設定	149
治療目標	149

つ・て

通所介護	38
通所型	38
通所リハビリテーション	38
デイケア	38
デイサービス	38
低周波治療器	181
出来高払い	103
できるADL	155
天職	207

と

同意	160
動機づけ	209
統合と解釈	152

等尺運動	177
登録理学療法士	49
特定行為看護師	52
特別養護老人ホーム	37
匿名加工情報	27
徒手筋力テスト	178
徒手的医療	82
トップダウン型	150
な・に	
ナースプラクティショナー (NP)	53
内発的動機づけ	209
二次性機能障害	119, 176
二次予防	40
日常生活活動	153
日常生活関連活動	153
日常生活動作	153
日本理学療法学会連合	49
日本理学療法士協会	48
日本理学療法士連盟	50
ニュルンベルク綱領	160
認知領域	189
認定看護師	52
認定・専門看護師	52
認定理学療法士	49
ね・の	
年金保険	43
能力障害 (disability)	117, 123
ノーマライゼーション	131
ノセボ効果	164
は	
バイオメカニクス	183
背景因子	133, 134
廃用症候群 (disuse syndrome)	119
パターンリスティックモデル	161
パターンリズム	160
ハビリテーション	19
ハラスメント	203
パワーハラスメント	203
ひ	
ピグマリオン効果	164
非言語的コミュニケーション	166
非言語的コミュニケーション能力	190
非地位財	158
非認知能力	197
皮膚や軟部組織の再生と修復	121
ヒヤリ・ハット事例	187
評価	73, 148
評価実習	63
評価手順	150
評価療養	104
病期	31
ふ	
ファンクショナルトレーニング (Functional training)	182
武士道	216
仏教	213
フットケアセラピスト	90
物理医学	79
物理療法	179
プラセボ効果	163
フランスの理学療法	89
ブルームの分類学	188
プロフェッショナルリズム	193, 207
プロフェッション	193
へ・ほ	
ヘルシンキ宣言	160
ヘルスケア産業	30
ヘルスコミュニケーション	166
包括支払い制度	103, 104
訪問型	38
訪問看護ステーション	38
訪問リハビリテーション	38
ホーンソン効果	164
保険外併用療養費	104
ボトムアップ型	151
み・め・も	
密教	214
名称独占	28
メディケア	92
メラビアンの法則	165
モチベーション	209
物語と対話にもとづく医療	173
よ	
養成施設	59
要配慮個人情報	27
陽明学派	212
予後	73
予後の推測	150
予防	39
ふ・り	
ラポール形成	165
理学療法	12, 21
理学療法士	102
理学療法士及び作業療法士法	13, 21
理学療法士作業療法士学校養成施設 指定規則	61
理学療法士及び作業療法士法の問題点	102
理学療法士免許	23
理学療法士養成施設	59
理学療法評価	142, 148
理学療法目標	149
リスク管理	32
立志	205
リハビリアニズム	109
リハビリテーション	16
リハビリテーション医学	19
リハビリテーション・栄養・口腔連携 体制加算	104
リハビリテーション科専門医	51, 81
リハビリテーション工学	16
リハビリテーション実績指数	35
リモデリング	122
臨床	61
臨床研究	71
臨床実習	61
臨床実習指導者	63
臨床心理士	57
倫理	197
倫理綱領	199, 212
れ・ろ	
レーザー治療器	180
老健	37
労災保険	44
労働者災害補償保険	43, 44
論文	171